

山形新聞「NIB（ビジネスに新聞を）」の出前講座を開催

9月20日、弊社社員を対象に、南陽市のワトワセンター南陽で開かれた。山形新聞の多田南陽支社長が新聞の特長や紙面構成、活用方法などを紹介した。

多田支社長は同日付、新聞を使って説明し「忙しくても見出しの短い言葉などに目を通すだけで、世の中の動きを把握できる」と強調。「地域の情報をふんだんに載せている山形新聞を有効活用し、営業相手や顧客との話題づくりに活かしてほしい」と呼びかけた。

社員のスキルアップを目的とした「ツバメ塾」を今年5月より開催しており、そのカリキュラムの一部として企画した。

弊社米沢スーパーセルフSS高梨マネージャーは「給油所での接客時の雑談でも、性別や年代の違いに応じて話題を変える必要がある。新聞から積極的に情報を吸収し、会話のネタにしたいと思う」と話した。



置賜ツバメ石油株式会社



私たちはエネルギーを通じ
地域社会に貢献する



置賜ツバメ石油株式会社